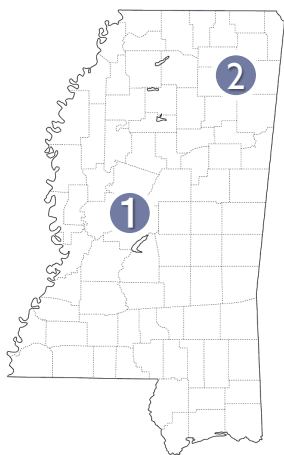


- 州都: ジャクソン(Jackson)
- 人口: 2,961,279人(全米34位:US Census Bureau (2020))
- 面積: 121,498平方キロメートル／46,911平方マイル(全米31位)
- 略史: ヨーロッパ人がこの地に現れたのは、1541年のスペイン人探検隊に始まる。フランス、イギリス、スペインがそれぞれ領有権を主張していたが、住民が米国への帰属を望み、1798年に合衆国準州となり、1817年に20番目の州として合衆国に加盟した。州北部のチューペロは、エルビス・プレスリーの生誕地である。この他、ミシシッピ州は、作家のウィリアム・フォークナーや劇作家のテネシー・ウィリアムズの出身地でもある。

主要都市の人口



① 州都	ジャクソン
	153,701
②	チューペロ
	37,923

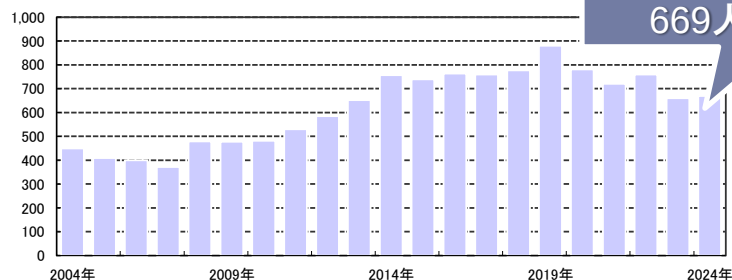
(出典: U.S. Census Bureau (2020))

人種・エスニシティ別人口構成

白人	58.7%
アフリカ系	37.8%
アジア系	1.2%
ヒスパニック系	3.9%

在留邦人数の推移

(在留届けベース)



2024年4月現在
669人

駐日事務所

ミシシッピ州政府駐日代表事務所(神奈川県横浜市)

<http://www.asoajapan.org/jpn/membershiplist/office/ms.html>

他の南部諸州と同じく、ミシシッピ州においても共和党優位の傾向が近年一層強まっており、2011年の州知事・州議会選挙で勝利した共和党が、19世紀後半の南部再建期以降では初めて知事と上下両院の多数議席を占めるに至っている。なお、ミシシッピ州は、首都ワシントンD.C.(特別区)を除く全米50州の中で、州人口に占めるアフリカ系住民の比率が最も高く、現在、これらアフリカ系有権者が同州における民主党の中心的支持層を担っている。

ミシシッピ州政府

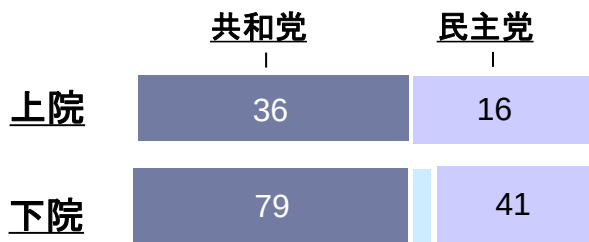
○ 州知事(任期4年)

テイト・リーヴス

(Tate Reeves)

共和党。1974年6月5日生まれ。
州財務長官、副知事などを経て、
2020年1月より現職。2024年1月より2
期目。

○ 州議会(2024年会期)(2024年7月末時点)



【注】 下院に無所属2名。

上院： 定数52議席、任期4年
下院： 定数122議席、任期4年

ミシシッピ州選出連邦議員

連邦上院議員 (任期6年)		Roger F. Wicker	共和党
		Cindy Hyde-Smith	共和党
連邦下院議員 (任期2年)	1区	Trent Kelly	共和党
	2区	Bennie G. Thompson	民主党
	3区	Michael Guest	共和党
	4区	Mike Ezell	共和党

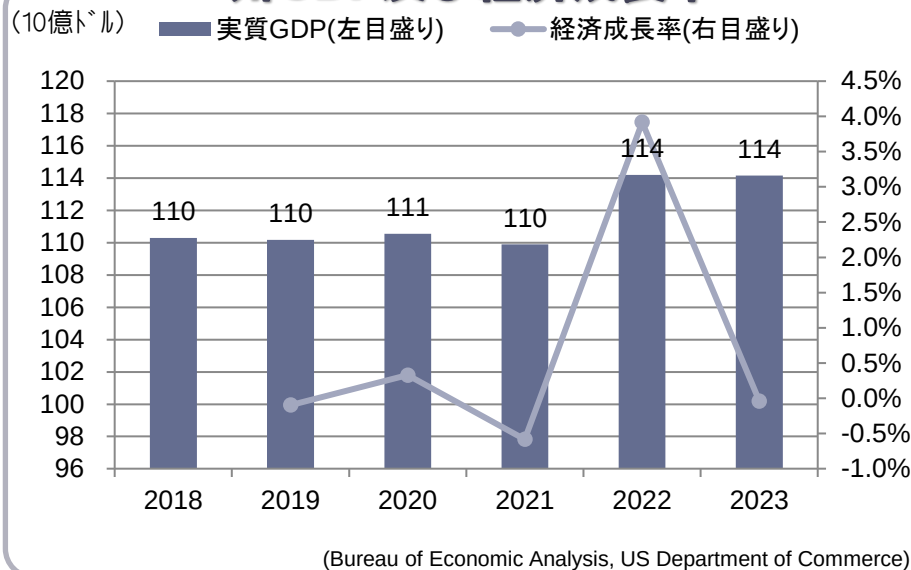
大統領選挙結果(ミシシッピ州)

	共和党候補	民主党候補
2012年	55 Romney	Obama 44
2016年	58 Trump	Clinton 40
2020年	58 Trump	Biden 41

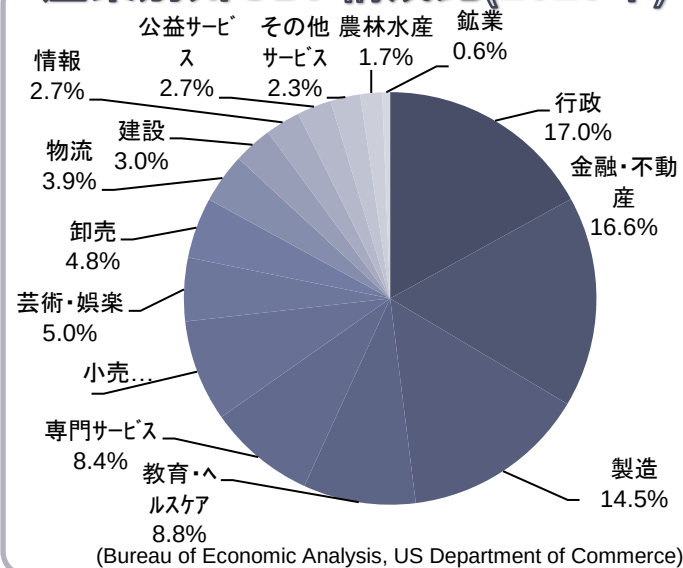
(出典:ミシシッピ州務長官)

ミシシッピ州は、かつて「綿花王国」として最も裕福な州の一つであったが、南北戦争で主戦場となって以降、経済の復興が遅れ、全米で最も貧しい州となった。現在も1人当たりの個人所得は全米最下位。伝統的に、農林水産業（綿花、養鶏、ナマズ養殖等）と、これらに関連する食品製造業が盛んな地域であるが、近年は、自動車産業や航空宇宙産業など、高度な製造業の誘致に力を入れている。コロナ禍により経済活動に打撃。2021年、失業率は回復している。

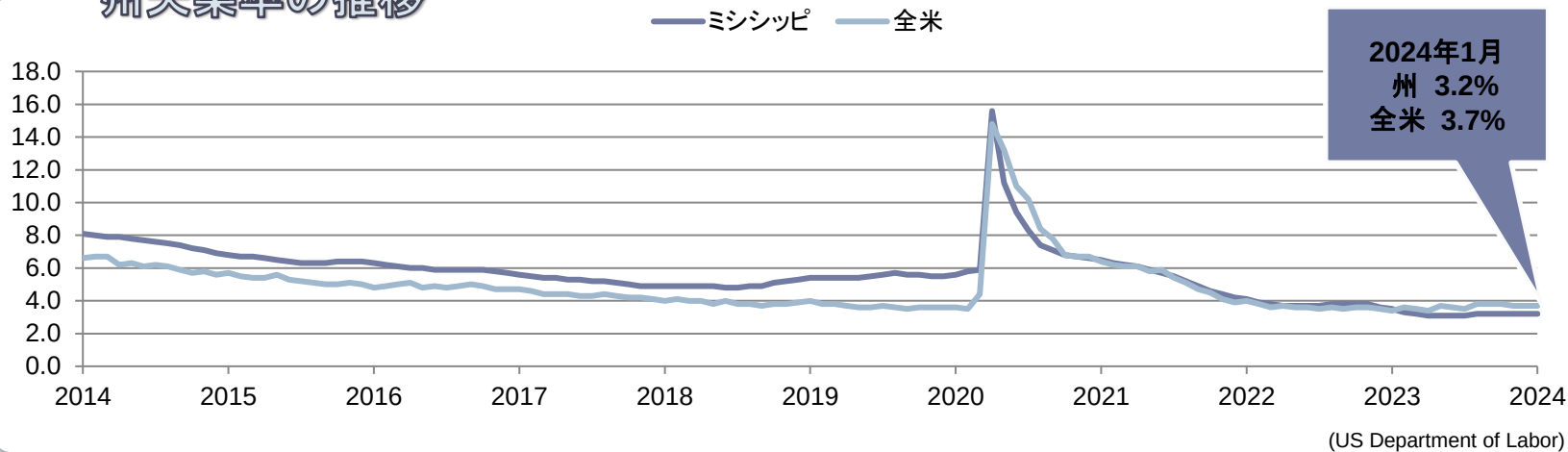
州GDP及び経済成長率



産業別州GDP構成比(2023年)



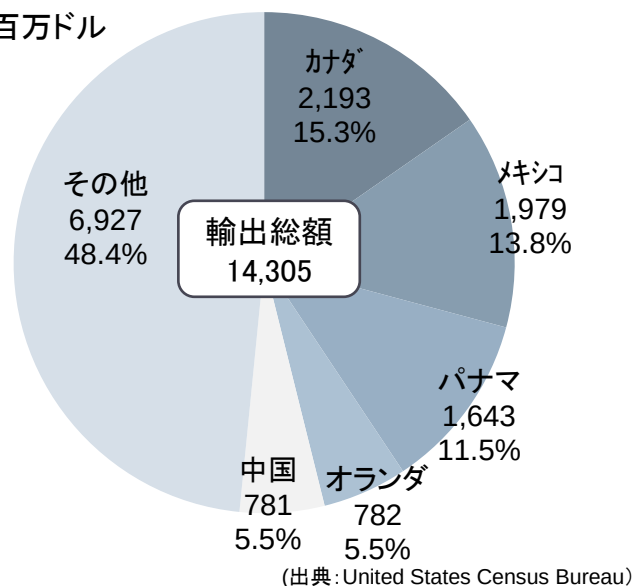
州失業率の推移



- ミシシッピ州の対外貿易は、輸出、輸入ともに、カナダ、メキシコ、中国のほか、中南米国との貿易が盛ん。日本は輸出で第9位、輸入で第8位の貿易相手国。
- 対世界輸出額は143億ドルで、主な輸出品目は石油・石炭製品、コンピューター・電子機器、その他製造品、輸送機器、化学製品など(2023年)。
- 対日輸出額は6.01億ドルで主な輸出品目は輸送機器、その他製造品、コンピューター・電子機器、木材製品、紙製品、化学製品、機械など(2023年)。

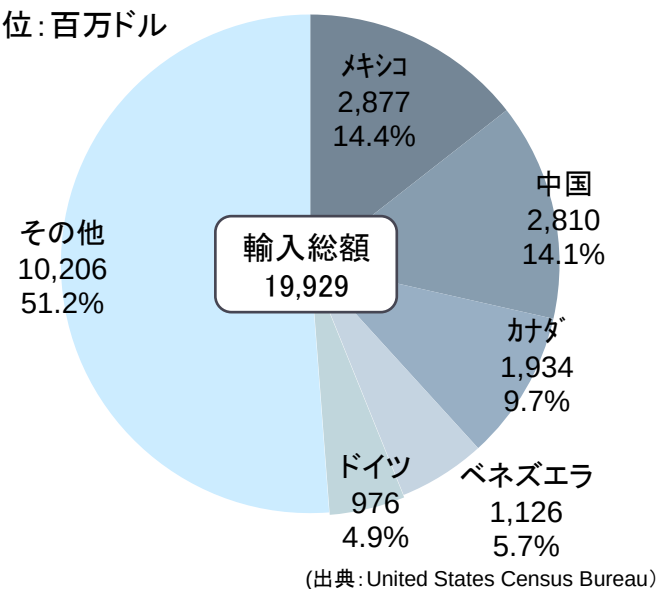
輸出 (2023年)

単位: 百万ドル



輸入 (2023年)

単位: 百万ドル



- ミシシッピ州内では、日系企業は約50社が活動しており、約15,000人の雇用を創出している。
- 外国企業による雇用は45,500人であり、そのうち16,700人(37%)が造業における雇用となっている。
- ミシシッピ州内では、日産及びトヨタの自動車組立工場、カサイノースアメリカや横浜ゴムなど、自動車関連企業の活動が盛ん。また、食品企業の味の素やカルビーも現地で生産を行っている。